

〔 競技注意事項 〕

1. 本大会は 2020 年度日本陸上競技連盟規則ならびに本大会要項によって行う。なお、スタートに関しては国内ルールを適用する。本大会は新型コロナウイルス感染拡大防止対策を考へての競技会のため、通常とは運営方法が異なるので、しっかりと確認をすること。

WA 規則第 1 4 3 条(TR5 シューズ)のルール改正について

本大会は、移行期間中の大会であり、標記の規則を適用せず実施する。ただし、標記規則における適用外シューズを使用する競技者は、学校受付の際に、「適用外シューズ使用」を申告する。同時に、競技場所における点呼時にチェックを受け出場する。記録は国内の公認記録として認められる。ただし、申告及びチェックを怠り、競技に参加した選手がいる場合、全員の記録は、WA の記録としては無効とされる場合がある。

2. 学校受付について

各校引率顧問は、2 日間とも 9 : 0 0 までに受付をすませておくこと。顧問の受付がない場合は選手の大会参加は認められない。学校受付時に、「新型コロナウイルス感染症防止策（遵守すべき事項）」、「棄権届」を提出する（棄権者がいない場合も提出する）。また、リレーに出場する学校は、「オーダー用紙」を提出する。チームの選手が適用外シューズを使用する場合は、「適用外シューズ使用申請書」も提出する。

3. ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカード（ビブス）を胸部・背部に確実につける。ただし、走高跳・棒高跳は胸・背いずれか一方でよい。走幅跳・三段跳は胸につけるだけでもよい。
- (2) トラック競技の 8 0 0 m 以上の種目に出場する競技者と 4×400mR の最終走者は、腰ナンバーカードを使用する。腰ナンバーカードとそれを留める安全ピンについては、各自で準備すること。縦約 12cm×横約 18cm で白地の布に黒マジックでレーンナンバーを 2cm 以上の太さで記入して右の腰に取り付ける。800m の決勝については、シール式腰ナンバーカードを本部で受け取り、使用すること。
- (4) 5000m 競歩については、競技場所集合時に指定されたレーン番号のナンバーカードを胸と背につける。
- (5) 使用した腰ナンバーカードは自宅まで持ち帰り、処分すること。

4. 競技場への入退場について

- ・入場できるのは競技者、補助員、競技役員のみとする。
- ・競技場内への入場可能時間はタイムテーブル記載の入場可能時間以降とする。
- ・入退場の場所はメインスタンド西側の通用口のみとする。入場後すぐ・退場前は必ず手洗いをする。
- ・非接触型体温計を使用し、選手の体温を測定する。当日の体温が 3 7.0 度を超える場合は入場できない。ただし、平素の体温も考慮する。
- ・入場する者は、本大会用の「【大会前／提出用】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」にチェックを受ける。
- ・再入場する者は、チェックを受けた「【大会前／提出用】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」を係員に提示する。
- ・100m～800m の決勝進出者は、決勝進出者の発表後、記録室前にて「決勝進出者証」を受け取り、競技場への入退場時にチェックを受ける。800m の決勝進出者については、「決勝進出者証」を受け取る際にシール式腰ナンバーカードも受け取り、レーンナンバーを記入すること。

5. 招集について

- (1) 招集は、学校受付時の「棄権届」の提出に替える。
- (2) 選手は、競技場所において点呼を受ける。(競技場所での最終コールを受ける)
- (3) 競技場所集合時刻は、当該競技開始時刻を基準とし、次のとおりとする。

<競技場所集合時刻>	
トラック競技	5 分前
跳躍競技	30 分前
(棒高跳のみ	60 分前)
投てき競技	30 分前

※ リレー種目のオーダー用紙は、学校受付時に提出すること。オーダー用紙は高体連 HP を通して配付する。選手のユニフォームは統一すること。オーダー用紙提出後の変更については、総務・医務係の了承のうえ、招集所に申し出ること。

- (4) 競技開始時刻に遅れた場合は棄権と見なし、出場を認めない。

6. 競技場所での点呼について

- (1) トラック競技
 - ① 競技開始時刻の 5 分前に点呼を受け、「【大会前／提出用】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」を提出し、準備する。
 - ② スタート練習は、役員の指示に従って行うこと。
- (2) フィールド競技
 - ① 競技開始の 30 分前に点呼を受け、「【大会前／提出用】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」を提出し、競技役員の指示に従って競技場内で練習を行うこと。
 - ② 特に、投てき競技については危険をとまなうので勝手な行動はつつしむこと。
 - ③ 退場は、跳躍および投てき競技役員の指示・誘導により行う。

7. 走路順・試技順について

- (1) トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラム記載の番号順とする。
- (2) 欠場者のレーンをあける。ただし、800m 以上の競技については出発係の指示に従うこと。
- (3) 選手の変更は一切認めない。リレー競技については事前にエントリーした 8 名から出場すること。

8. 競技について

- (1) 同一選手がトラック競技とフィールド競技を同時刻に兼ねて行う場合は、トラック競技を優先とし、フィールド競技は同一ラウンドにおいて競技役員の許可を得て順序を変更することができる。なお、トップ 8 の 6 回目については変更することができない。
- (2) セパレートレーン使用の競技では、フィニッシュした後も他の競技者の安全のために、自分の割り当てられたレーン<曲走路>を走るものとする。
- (3) フィールド競技における競技開始前（招集所から入場後）練習は競技役員の指示によって行う。
- (4) 男子走幅跳、三段跳、女子走幅跳は A・B ピットで実施する。
- (5) 男子三段跳の踏切板は 10m とする。女子三段跳の踏切板は 7m と 9m を併用する。ただし、審判長の判断で変更することもあり得る。
- (6) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方については以下のとおりとする。ただし、審判長の判断で変更もあり得る。

走高跳	男子	練習(1.55・1.75)	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80	1.85	以後 3cm
	女子	練習(1.20・1.40)	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55 以後 3cm
棒高跳	男子	練習(2.50・3.20・3.60)	2.60	2.80	3.00	3.20	3.40	3.60	以後 10cm
	女子	練習(1.80・2.40)	1.80	2.00	2.20	以後 10cm			

- (7) 本年度は、ハンマー投において、6位までの入賞者で県新人参加標準記録(男子 33m, 女子 23m)未満の競技者に、決勝後3回の追加試技を与えない。
- (8) 棒高跳、円盤投、ハンマー投については天候不良の場合、日程を変更することがある。

9. 競技の番組編成について

- (1) トラック競技の決勝の進出者の発表は、**アナウンスすると共に記録発表用 twitter 上で発表**する。
- (2) トラック競技で同記録の場合、写真判定で着差があれば着順を優先する。
- (3) トラック競技のプラス取りの決定については、記録の上位の選手から取る。同記録の場合は1000分の1秒までの判定により進出者を決定する。レーンに余裕がない場合は抽選を行う。

10. 上訴について

抗議にあたっては、**記録発表用 twitter 上に発表された時間を基準**とし、次のラウンドがある場合は15分以内、ない場合は30分以内で本部（総務員）に口頭で申し出る。

11. 競技場使用について

- (1) スパイクピンの長さは8ミリ以下とする。ただし、走高跳・やり投は12ミリ以下とする。**競技開始前の点呼時にスパイクピンのチェックを行うので、点呼とともにチェックを受けること。適用外シューズについても同様とする。**
- (2) 競技に使用する器具はすべて競技場備え付けのものを使用する。ただし、「棒高跳用ポール、やり」については個人の物を使用することができる。「やり」は、競技開始60分前から45分前までに本部にて検査を受けること。
- (3) **応援は全面禁止とする。競技の撮影をする場合は芝生スタンドから行う。**
- (4) 清掃・ゴミ処理は、各学校、各自で責任を持って行い、環境美化に努める。
- (5) 指定された場所以外へのテント設営、立ち入りを禁止する。
- (6) 倉庫前、器具を取り出した後の倉庫内は待機場所としての使用を原則禁止する。
- (7) 競技者は管理棟内のトイレの使用を禁止する。**スタンド下のトイレを使用する。**
- (8) 自分の競技が終了した者は、速やかに場外へ出ること。
- (9) **男子更衣室は利用できない。女子更衣室の滞在は短時間にし、シャワールームは使用を禁止する。**
- (10) **発熱者が発生したときは、迎えが来るまで競技者係控室にて待機させる。**
- (11) **競技役員は、控え場所としてメインスタンドを使用する。**

12. ウォーミングアップについて

- (1) 競技開始前のウォーミングアップは2日間とも競技開始の15分前までとする。ホームストレートと第4コーナー出口付近では接触の危険性が非常に高いので、係の指示に必ず従うこと。ジョギングに関してはトラックの外側で競技会準備の支障にならないように行うこととする。
- (2) 競技中のバックストレートでのウォーミングアップは、下記の条件付きで認める。
 - ①場 所：第1曲走路の中間地点から第2曲走路の中間地点。完全に停止すること。
 - ②レーン：6・7・8(競歩競技の時間帯は7・8レーンのみ)
 - ③種目間、組間の空白時間帯で準備に支障をきたさない時
 - ④可能な種目の時間帯：100m、100mH、110mH、1500m、3000m、5000m、5000mWまた、ハードルを用いたウォーミングアップは、主催者側で準備した場所で行うこと。
- (3) 競技場以外での投てき物を用いる練習は一切禁止とする。
- (4) 投てき競技における競技前・競技中の練習で使用できる器具はタオル等、人に危害を加えないものに限る。
- (5) やりの突き刺し練習、砲丸の打ち付け練習は禁止する。

13. 電気計時・写真判定装置が作動しなかった場合の措置について

①短距離種目

判定可能なレース結果より上位 8 名を選出する。それに判定できなかった組の選手全員を加えて決勝（タイムレース決勝方式）を行う。

②中・長距離種目

周回記録員の手動計時によるバックアップ計時を採用する。

14. 感染防止のための全般的な注意事項

(1) 大会 1 週間前から体調管理チェック表を記入し、競技場入場時に各個人で提示する。

※以下の項目に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる。

- ・体調がよくない（例：発熱・咳・咽頭通などの症状がある場合）
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ・過去 1 4 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

※提出する前に、提出するデータをコピーまたは写真に撮り、自身でも保管すること。

(2) 運動中以外はマスクを着用し、手洗い、洗顔を徹底する。

(3) 3密（密閉・密集・密接）回避行動を心掛ける。

(4) ウォーミングアップは個別に行う。

(5) 競技終了後および競技用具使用後は手洗い・洗顔・手指の消毒をする。

(6) 更衣室の滞在は短時間にし、シャワールームは使用を禁止する。

(7) 運動中につばや痰を吐くことは極力行わない。

(8) ゴミは各自で必ず持ち帰る。

(9) フィールド競技の滑り止め（炭酸マグネシウム）はできるだけ各自で持参する。

(10) 競技者同士の会話は極力避け、移動中・待機中はマスクを着用する。マスク着用による熱中症に気をつける。

(11) 声を出しての応援、集団での応援を行わない。

(12) 競技者は自分の競技時間に合わせて来場し、自分の競技が終わったら速やかに帰宅する（競技場滞在時間をできるだけ短くする）。

(13) 競技者以外の応援者・観客の競技場内への立ち入りを禁止する。

(14) 各団体は芝生スタンドの指定された場所を使用し、密を避ける工夫をする。

(15) 参加者は、大会終了後 2 週間は健康チェックをする（「【大会後／個人管理用】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」を活用する）。症状が 4 日以上続く場合は必ず最寄りの保健所、医師会、診療所等に報告する（症状には個人差があるため、強い症状と思う場合はすぐに報告する）。また、保健所、医師会、診療所に相談後、必ず大会主催者（高体連陸上競技専門部尾張支部副委員長 藤田（一宮南高校 0586-76-1400））に報告する。

(16) 大会主催者は競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任を負わない。

15. その他

(1) 氏名、所属等がプログラムの印刷と異なる場合は、早めに本部の庶務担当に申し出て訂正すること。

(2) 競技中に生じた事故については、応急処置はするが以後の責任は負わない。

(3) 表彰については各種目 6 位、総合は 6 位、トラックの部、フィールドの部は 3 位まで行う。

(4) 県大会の申し込みについては、2 日目終了までにメインスタンドで行うこと。それ以後は棄権と見なす。

・各種目 6 位までの入賞者（走高跳・棒高跳は 6 名の入賞者）で、本大会で県新人参加標準記録を突破している者。（ただし、不出場者がいる場合には順次繰り上げて県大会へ出場できる）出場を辞退する場合は早めに副委員長藤田まで申し出ること。

(5) カメラ・ビデオ等の撮影について

- ◆ 選手の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください。◆
- ※ 撮影を許可するエリアは、芝生スタンドのみとします。
- ※ 禁止された区域での撮影はできません。
 - ・ 各種目のスタート後方
 - ・ 走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳の助走後方・着地前方
 - ・ 走高跳のマットに向かった正面（クリアランス動作中）
- ※ 保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。
- ※ 競技者がスターティングブロックの足合わせをしたり、試技を待っている間や、身体を動かしているなどの準備の行動の撮影は禁止します。
- ※ 他人に著しく迷惑をかける行為として主催者で判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡します。

(6) 記録の掲示は行わない。結果は Web で確認する。

(7) 各校で消毒液と体温計を持参すること。

(8) 競技場のフェンスの外からの観戦も不可とする。

(9) 厚生労働省が提供する、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）の使用を推奨する（ただし、通信端末は競技エリアに持ち込むことはできない）

(10) 出場者が 100mH で 9 名以下、400mH で 8 名以下となる場合は、再度番組編成を行い、予選の時間に決勝を行うものとする。